

★京都の平和行進の日程・コース（予定）

※コース・時間等の詳細は、各地域実行委員会で決定されます。

- 6/21(木)** 14:00 出発式 円山公園ラジオ塔前 15:00 ころ 出発→
八坂神社(祇園)石段下(15:15ころ)→四条通→四条河原町→河原町通
→御池通→京都市役所着(16:00ころ)・まとめ集会
- 6/22(金)** 行進なし(京都府・京都市への要請)
- 6/23(土)** 10:40 向日市役所出発集会/11:00 出発→12:00 長岡京市役所(昼食休憩)
→12:50 長岡京市役所出発集会/13:10 出発→14:00 大山崎町役場→
(車移動)→15:00 宇治市役所 男山出発集会/15:15 出発
→16:30 八幡市役所(まとめ集会)
- 6/24(日)** 9:20 宇治市役所出発集会/9:50 出発→11:30 城陽市役所(昼食休憩)→
12:40 城陽市役所出発集会/13:05 出発→15:00 京田辺市(中野市民センターで休憩)
→16:00 京田辺市役所
☆久御山町コース 9:50 京銀前集合/10:00 出発→10:40 大久保で合流
- 6/25(月)** 府南部の網の目(南山城村～笠置町～和束町～宇治田原町～井手町)
- 6/26(火)** 8:45 精華町役場出発集会/9:10 出発→10:30 木津川市役所出発集会/
10:50 出発→11:40 市坂(小休憩)→12:30 奈良県との引継ぎ(般若寺)

京都の生協と「平和行進」

3. 1ピキニデーと原水爆禁止世界大会

1945年8月、広島・長崎に原爆が投下され、日本は世界で唯一の原爆被爆国となりました。そのわずか9年後の1954年3月1日、アメリカは太平洋ビキニ環礁で水爆実験をおこない、マーシャル諸島の人びとや日本漁船が被爆しました。焼津のマグロはえ縄漁船「第5福龍丸」の乗組員全員が急性放射線症にかかり、無線長の久保山愛吉さんは「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」といいのこして、その年の9月に亡くなりました。

この3. 1ピキニ事件は、日本国民に大きな衝撃をあたえ、「ヒロシマ・ナガサキをくりかえすな」と、全国でいっせいに原水爆禁止の声がまきおこりました。またたくまに3千数百万筆の署名が集められ、1955年8月、第1回原水爆禁止世界大会が開催されることになりました。以降、世界大会は毎年開かれています。

原水爆禁止世界大会の取組みのひとつとしての「平和行進」

1958年、宗教者・被爆者・市民が広島から東京にむけて「千キロ行進」をはじめたことがきっかけとなり、59年から日本原水協のよびかけで「国民平和行進」がはじまりました。1969年から東京(夢の島:第5福龍丸が保存されている)からスタートして広島へという形が定着し、広島での原水爆禁止世界大会の開催日にあわせた行進日程がとられてきました。

日本生協連も1983年、原水爆禁止世界大会にかかわる活動の一環として、「国民平和行進」の取組みを全国にむけてよびかけました。しかし、その後、原水爆禁止運動の不幸な分裂があり、日本生協連は1985年、日本原水協・平和委員会・労組などで構成される「国民平和行進」とは一定区別する形で、市民団体と実行委員会をつくり、「市民平和行進」を実施することとしました。

京都の生協と「平和行進」～「市民平和行進」と「国民平和行進」との連携で

京都の生協としては、それまでは個人が平和行進にかかわっていましたが、1983年から「国民平和行進」に参加するようになりました。1983年の生協組合員の参加はのべ800人で、平和と核廃絶の願いをもちより、広島・長崎での世界大会には200人の組合員とその家族が参加しました。

1985年以降は、「市民平和行進」の取組みとして、地域生協・大学生協・医療生協などと地域団体・平和団体と実行委員会をつくってすすめてきました。行進にあたっては、「国民平和行進」実行委員会と連携しながらすすめてきたこと、それぞれの地域ごとに実行委員会をつくり、さまざまな団体・個人と協同で平和の取組みをすすめていることが京都の平和行進の特徴のひとつとなっています。